

第13次沼田市教育水準向上研究〈第1年次〉

沼田市の教育

～ 学校教育編 ～

第51集

2024

(令和6年度)

沼田市教育委員会

沼田市下之町888番地 (TEL 0278-23-2111)

沼 田 市 の 教 育

第 5 1 集

序	沼田市教育委員会教育長 竹之内 篤	
第 1 編	研究の基礎	
第 1 章	第 1 3 次沼田市教育水準向上研究<第 1 年次>推進計画	1
第 2 章	研究経過の概要	5
第 2 編	全市的共同研究	
第 1 章	教育水準向上研究授業研究会	9
第 2 章	沼田市夏季研修会	14
第 3 章	沼田市小中学校教育研究会	16
第 4 章	沼田市独自施策・指定研究の展開	43
第 3 編	学校別研究	46
第 4 編	成果と課題	
第 1 章	沼田市教育行政方針評価 (学校教育)	134
第 2 章	第 1 3 次教育水準向上研究<第 1 年次>の成果と課題	139
令和 6 年度の研究指定等		140
編集後記		140

2 0 2 4

沼 田 市 教 育 委 員 会

序

沼田市教育委員会
教育長 竹之内 篤

令和6年度、本市は市制施行70周年を迎えました。沼田市教育水準向上研究においては昨年度に50年目の節目を迎え、今年度は「第13次沼田市教育水準向上研究」第1年次として「社会の変化に主体的に関わり、未来社会を生き抜く力を身に付けた子供の育成」を主題に掲げ、「未来を担うたくましいひとづくり、まちづくり」の新たなステージへと歩みを進めてまいりました。

今年度は、市政施行70周年記念事業として「たんばら・森林の学校」を実施し、沼田市の未来を担う4年生の児童が、玉原高原の価値を認識し、「森林文化都市沼田」に対する誇りをもち、愛着を深めるため、森林のもつ機能や働きなどについて学習しました。また、地域を愛し親しむ心、誇りに思う心を育むために、ふるさと沼田を知り、よさを学ぶ「ぬまた未来創造学」をスタートさせ、コミュニティ・スクールの取組を生かしながら、地域をフィールドとし、地域と協働した学びを進めました。

このような中、各学校園では、校長・園長がリーダーシップを発揮して明確な経営方針を示し、各主任が中心となった組織的な取組を進めることにより、学校全体で共通理解を図りながら、趣旨に基づいた教育活動を展開しました。

沼田市教育委員会としては、先に掲げた目指す子供像の具現化に向けた事業を展開しました。「沼田市・先生の日」では、沼田市教育行政方針や「2024学力向上対策」を全教職員で共通理解するとともに、慶応義塾高等学校野球部の森林貴彦監督の講演「Enjoy Baseballを通じたチーム創り、ひと創り」からは、人間力の向上や成長至上主義の追求などの視点から多くの学びを共有することができました。「沼田市夏季研修会」では、群馬大学共同教育学部附属中学校の未来創造科の先進的な取組から、「ぬまた未来創造学」推進の大きな手掛かりを得ることができました。また、「教育水準向上研究授業研究会」は、升形小学校、川田小学校、沼田西中学校の3校を会場に開催し、「2024学力向上対策」を踏まえ、沼田市教育行政方針の重点事項を具現化した授業を公開しました。

「幼保こ小関連教育推進事業研究協議会」では、桜ヶ丘保育園の保育公開と群馬大学共同教育学部附属幼稚園の山藤こず恵園長の講演により、学びの連続性を踏まえた幼小の円滑な接続に向けて理解を深めることができました。そして、沼田市教育研究所では、小・中学校班ともに「ぬまた未来創造学」の実践的な研究を積み重ねました。

こうした事業や各学校園での取組の様々な場面において教職員が語り合い、高め合い、磨き合うことで、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が推進され、子供たちの変容へとつながりました。

今後も、社会の変化に主体的に関わり、未来社会を生き抜く力を身に付けた子供を育成するために、創造的に思考し、互いに意思疎通を図りながら同じ目標に向かって協働することを大切にして、自律し、共に学び、たくましく成長していく沼田市の子供たちを支えていきたいと思っております。

結びに、この研究、実践に対して御指導いただきました利根教育事務所をはじめとする群馬県教育委員会等の関係各位に改めて厚く御礼申し上げ、「沼田市の教育」の序といたします。